

区政全般に関して、行政側に現状や見通しを聞く

一般質問に登壇しました

子どもの権利に関連する取り組みについて

葛飾区子どもの権利条例が制定されて1年になります。条例について子どもも大人も理解して、子どもの権利が尊重されるまちづくりを着実に進めていくことが必要です。



Q 子どもの権利擁護のための相談のしくみもできましたが、相談はわずか8件と聞いています。子どもが意見を表明しやすくなるよう改善する必要があります。この1年の区の取り組みとその評価、今後どのように取り組んでいくのか見解を伺います。

A 啓発用リーフレットの配布、子どもの権利に関する研修や図書館における書籍の特集を実施。相談件数が少ない要因のひとつは周知や相談手段が不足しているためと考え、区公式ページで現在準備をすすめている子どもページ内に、子どもの権利擁護のための相談や意見表明のためのフォームを設けます。未就学児向けの絵本や小・中学生向けの動画を活用し、より一層啓発・周知をすすめていく予定です。

Q 学校で子どもの権利について学ぶことにより、子ども、教員、保護者の子どもの権利についての認知度が高まり、教員の意識や子どもへの関わり方がよくなるという報告もあります。教育委員会での取り組みや評価、これからの取り組みについて見解を伺います。

A 教員に対しては、子どもの意見を聴き、子どもにとっての最善を考えながら、様々な教育活動に取り組むよう指導しています。子どもたち自身も自分の権利について学びを深めているものと評価しています。今後はこれまでの取り組みを一層充実し、啓発用リーフレットや学習動画を活用して学びを深めていきます。

不登校支援について 2023年度、不登校の児童・生徒は全国で34万人を超え過去最多となりました。不登校の子どもたちへの支援に加え、不登校を未然に防ぐ取り組みが求められています。

Q 近年、子どもたちが誰でも安心して過ごすことができる、学校内の居場所づくりが各地の学校で広がっています。不登校の未然防止においても、子どもの権利を保障する取り組みのひとつとしても、学校内の居場所づくりが必要と考えますが、教育委員会の見解を伺います。

A 2026年度までに全中学校に校内サポートルームを設置し、現在「校内サポートルーム運営ガイドライン」の作成をすすめています。他自治体の先行例も研究しながら、必要な支援の充実に努めます。

Q 自治体の支援情報、不登校の子ども達の心身の状況に応じた対応、地域のフリースクール・親の会・支援団体等の情報など、不登校に関連する各情報について区でもわかりやすくまとめ、必要な人に届けるようにするべきと考えますが、見解を伺います。

A 不登校児童・生徒やその保護者に対する支援の情報提供については区独自の保護者向け冊子を年度末の発行に向け準備をすすめています。フリースクールの紹介についても検討していきます。

能登半島の災害ボランティア活動報告



2024年1月の地震、9月の豪雨災害で甚大な被害を受けた能登半島の災害ボランティア活動に参加しました。特定非営利活動法人 Hand Over Japan 代表理事 佐藤純さんの案内で、七尾市を拠点に災害支援をしている被災地 NGO 協働センターから輪島市に入りました。

金沢までは新幹線。金沢から七尾市の活動拠点へは車で90分、活動場所の輪島市へはさらに60分です。この距離感には行かなければわかりませんでした。

活動予定は朝のミーティングで伝えられます。高圧洗浄機や養生シート、電灯、バケツ、掃除機など、泥かきや室内清掃作業に必要な道具を車に積み込み、それぞれ現地に向かいます。私は浸水後の清掃作業で2日間D邸に伺いました。依頼者の女性は一緒に清掃をしながら、避難所で離れて暮らす夫のことや、こうして人が来てくれて一緒に過ごす鬱っぽさが軽くなるなど、たくさんお話されました。建物の解体作業といった専門的な技術を要する活動も求められますが、泥だらけになった室内の清掃や傾聴など、誰かがそばにいただけで助けになることがいろいろありました。輪島の朝市通りの解体作業は進んでいましたが、他のエリアでは解体が終わった建物のごくわずかでも多くの建物が崩れたまま。歩道が激しく隆起していても、安全確保のための規制線もありませんでした。

復興のためにはもっと人の力が必要であるにもかかわらず、届きにくいのが現状です。今回、私は民間の団体を通じ活動に参加できましたが、現地までの移動手段や宿泊場所を個人で確保するのは容易ではありません。能登でのボランティア活動には個人が参加しやすい拠点づくりや、現地と人を繋ぐことができる民間団体への支援が必要だと強く感じました。

今回の貴重な経験に感謝し、今後の被災地への支援や葛飾区の災害対応に生かしていきます。

夫と息子の3人家族 沼田 たか子のプロフィール

1976年 新潟県吉田町(現:燕市)生まれ。新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業。日本医科大学付属病院、新潟大学附属病院に勤務。結婚後、訪問看護師として働く。2011年 聖徳大学人文学部心理学科卒業。生活クラブ生協加入。2013年 葛飾区新宿に転居。子育てをしながら、生活クラブ生協ましかつしかの運営委員として活動。2017年より区内の訪問看護ステーションに勤務。2021年葛飾区議会議員選挙初当選(文教委員会、区民サービス向上対策特別委員会に所属) 2023年10月より保健福祉委員会、危機管理対策特別委員会に所属

●資格：看護師、介護支援専門員、心理相談員 ●趣味：庭いじり、ヨガ

お手数ですが
85円分の切手
を貼付のうえ
投函ください

125-0054

東京都葛飾区高砂8-21-1
沼田 たか子 行

よろしければご記入ください

お名前： _____

ご住所： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____